

あきたエコマイスター NEWS

変わりつつある秋田の環境とこれからのを考える シンポジウムを開催します！

自然環境や再生可能エネルギーに恵まれ、これからの時代にふさわしい資源を有している秋田。一方で、手入れが行き届かない森林や里山の増加、野生動物による被害の拡大等の課題も抱えています。秋田の環境はどのように変わりつつあるのか、専門家の皆様の話を聞きながらこれからの秋田を考えてみませんか？

- 日時 令和4年7月30日(土) 13時30分～
 会場 秋田市にぎわい交流館AU 3階「多目的ホール」
 内容 1. 基調講演
 「秋田の環境を捉える視点と課題」
 2. パネルディスカッション
 「変わりつつある秋田の環境とこれからのを考える」
 ～持続可能な地域を目指して～
 【パネリストの分野】
 ● 森林 ● 野生動物 ● 湖沼等の水質
 ● 外来生物 ● 海の生物
- 申込先 認定NPO法人環境あきた県民フォーラム



IPCC第6次報告書のポイント！

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）とは？

世界気象機関（UNEP）と国連環境計画（WMO）により設立された組織。世界中の研究者が地球温暖化等に関する研究をまとめ、数年ごとに報告書を公表しています。

第1 作業部会報告書（自然科学的根拠）

- 地球温暖化が人間の影響で起きていることは「疑う余地がない」と初めて断言。
- 地球温暖化の影響により、極端現象（例：熱波や大雨等）の頻度や強度が増している。
- 21世紀末における世界の平均気温は、気候変動対策をとらず、温室効果ガスの排出が非常に多い想定だと、工業化以前と比べて3.3～5.7℃上昇するが、排出を非常に少なく抑えた想定では、1.0～1.8℃上昇すると予測されている。

第2 作業部会報告書（影響・適応・脆弱性）

- 平均気温の上昇を1.5℃付近に抑えることで、気候変動の影響を大幅に減らすことができるが、完全にすることはできない。
- 地球温暖化が進むと適応の限界に達する可能性が高くなり、対策に失敗している例もあることから、政策・知識・財政等を総動員した取り組みが必要。



- 二酸化炭素の排出量の「正味ゼロ」
 - 早急な「気候にレジリエント（強じん）な開発」
- 等が必要！**

編集：認定NPO法人環境あきた県民フォーラム
 〒010-0951 秋田市山王5丁目7番6号 林泉会館
 TEL：018-853-6755
 FAX：018-853-6765
 E-mail：mail@eco-akita.org



発行：秋田県生活環境部温暖化対策課
 〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号
 TEL：018-860-1573
 FAX：018-860-3881
 E-mail：en-ondanka@pref.akita.lg.jp

できることから始めよう！
 みんなで
 ストップ・ザ・温暖化あきた

リサイクル適性(A)
 この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

あきたエコマイスターの活動紹介



海ごみや地域のクリーンアップ活動



地域の環境美化活動

地域イベントでの環境啓発活動

子ども向けエコ工作教室



環境に関する施設見学会

小水力発電に関する講演会

ぼくたちは
どんなことが
できるかな？



く～るちゃん



え～るちゃん

みんなも
いっしょに
考えてみてね！